

## 春本番

校長 武井 正明

また新たな顔ぶれで令和8年度が始まって、早5日が経った。

教務室から、新年度準備を進めながらの賑やかな声が聞こえてくる…。この和やかな雰囲気を感じながら、入学式の式辞の構想を練る…これが校長として、本当に嬉しく、ありがたい。しあわせな時間だ。教務室は、教職員みんなの職場だ。だから、いつも誰もが笑顔で、生産的な気持ちで職務に励める空間でありたい。

先ほど吉田高校の入学式から帰校した。

桜満開の陽気に恵まれて、先月卒業した吉中生も吉高生として、新たな制服に身を包んでのスタートとなった。入場の際に私と判って、微笑んでくれた新入生が何人かいたのが嬉しい。ここからが本当の始まりだ。頑張るんだよ…。

先週金曜日。まだ学校は春休み。昼休み、ちょっと表を歩いてみよう…。

吉中に赴任以来、春休みに、こうして歩くのは初めてだ。これが実に心地よかった。

踏切付近に、懐かしいお店の跡を発見した。こんなに近くにあったとは知らなかった。

若き日、先日登場したW氏とその店で飲んでいるうちに、彼は酔い潰れ、私は帰りのタクシー代がなくなり、私は巻町下和納のアパートまで歩かざるを得なくなった。

あれから30年余か…歩いてみなければ『BASK』に気づくこともなかっただろうな。

昼食後の戻り路、北公園を歩く。数組の若い母親と子どもが憩っていた。

日当たりのいい場所の桜たちが、いくつも花を開いていた。

4月という月同様、桜という花も、その時の心持ちによって感じ方の違う花だ。

昔、母が亡くなった早朝の川縁、朝靄の切れ間から浮き上がった桜は神々しかった。

あっ、おふくろは今、天国に行ったんだな、とその時確信した。

前任校、加茂須田中の屋上から見た桜は、桃や梨たちとの饗宴。

「桃源郷」という言葉がぴったりくる、色とりどりの絶景。南風を受け、左に弥彦角田。右手遠くは粟ヶ岳が稜線を濃くしていた。

そして今、北公園で見る桜たち。

全く曇りのない、希望あふれる薄いピンクが、私を見てと言わんばかりに、迷いなく咲き誇っている。さらに次を控える蕾たちも、その瞬間を待ちきれないような、楽しみで、豊かな時間…。この平和が、いつまでも続きますように。



吉田中で迎える3度目の春。いよいよ桜満開の、春本番がやってくる!!